

イーブン



男女共同参画週間

毎年6月23日から29日までの1週間は、国が主唱する「男女共同参画週間」です。

内閣府では、男女共同参画週間に合わせて、「男女ともに自らの個性と能力を最大限に発揮できる社会を実現していくためのキャッチフレーズ」を募集し、次のとおり最優秀作品を決定しました。

「だれもがどれも選べる社会に」

「男だから」「女だから」といった性別役割意識にとらわれず、自分のやりたいことや得意なことで進路や仕事を選ぶことができる社会の実現が求められます。私たち一人ひとりの意識と行動で、お互いを尊重しあい、みんなが自分らしく生きられる社会を築いていきましょう。



内閣府ポスター

パートナーシップ制度に係る連携に関する協定を締結しました！

これまで、県内では、近隣市町村で自治体間連携協定を締結している区域が複数ありましたが、県全域での連携協定はありませんでした。

そこで、川越市長が埼玉県内の自治体の首長に協力を呼びかけ、埼玉県内でパートナーシップ制度を実施する62市町村との協定が実現し、これにより、協定した市町村間で制度利用者が転居した場合に、簡易な手続きで引き続き制度を利用できるようになりました。

この協定が性的少数者の方の生活上の困難や生きづらさを軽減し、性の多様性に対する社会的な理解が進む契機となることを期待しています。



＜令和6年4月12日開催の協定締結の様式＞

川越市では、転出先または転入元が協定した自治体の場合、次の手続きが不要になります！

※手続きは自治体により異なります。詳しくは各自治体にご確認ください

転出時

- パートナーシップ宣誓書受領証の返還が**不要**

転入時

- 2人そろっての宣誓が**不要**
- 住民票の提出が**不要**
- 結婚をしていないことを証明する書類の提出が**不要**



詳細はホームページをご確認ください



令和6年度男女共同参画市民フォーラムを開催しました

令和6年6月29日(土)に、ウェスタ川越男女共同参画推進施設において、男女共同参画週間にちなんだ市民フォーラムを開催しました。

今年は小学生を対象に、理系分野で活躍する女性をテーマとして、地球電磁気・地球惑星圏学会※(SGEPSS)の若手アウトリーチ活動グループ STEPLE から5人の研究者をお迎えし、研究者を目指したきっかけや、オーロラの仕組みについてお話をうかがいました。

講演後のアンケートでは、参加したこどものうち約8割が「今日話を聞いて理科や算数が「もっと好きになった」と答えてくれました。一人ひとりの得意なことに性別は関係ありません。性別によって役割や仕事、得意・不得意を決めつけるのではなく、だれもがいろんな可能性に挑戦できる社会を目指しています。

テーマ 「地球と宇宙の『波』の不思議 ～おもしろ工作実験とオーロラのお話～」

みなさんが研究者をめざしたきっかけは？

佐藤さん 子どもの頃からオーロラに興味を持っていました。高校時代に日本初の女性南極越冬隊の方が書いた本に出会い、研究の道を選びました。

伊藤さん 小学生の頃から宇宙の図鑑が好きでした。高校生時代にJAXA職員の話をもとに宇宙に関わる研究をしたいと思うようになり、現在は大学院の博士課程でオーロラの研究をしています。

どんな研究をしているの？

吹澤さん 点滅するオーロラの研究をしています。ノルウェーでロケットを打ち上げたり、地上からカメラを使って観測を行い、オーロラの発生原因や構造の研究を行っています。

村瀬さん 人工衛星から得られた観測データと、南極の昭和基地やノルウェーで観測されたデータを比較して、宇宙空間から飛んでくる宇宙線の研究をしています。

遠藤さん 小さな氷の粒でできた「夜光雲」の研究をしています。研究の一環で、令和3年12月から約1年2カ月、越冬隊員として南極地域観測隊に参加しました。

講師：佐藤由佳さん(日本工業大学)
伊藤ゆりさん(総合研究大学院大学)
遠藤哲歩さん(明治大学大学院)
吹澤瑞貴さん(国立極地研究所)
村瀬清華さん(国立極地研究所)



講演会の様子

オーロラの話になると、こども達はいつそう集中して講師の話を聞いていました。質問の時には多くの手が挙がり、大変盛り上がりました。

オーロラの話の後は、ストローとセロハンテープで作ったウェーブマシーンで「波」に関する実験を行いました。テープを強く張ったり弱く張ったり、ストローにクリップをつけて重さを変えたりしたときに波の速さがどう変化するか、初めに予想を立て、様子を観察するという研究者と同じ過程を踏みながら楽しく実験を行いました。



参加者の声～親子アンケート～

- ★いろいろなことが知れたのでよかった
- ★「波」のひみつがよく分かったから本などで調べたいと思った
- ★性別にかかわらず学びたいこと進みたい分野を選択できることが望ましい
- ★やる気のある子にチャンスがある社会を目指すのが良い

※地球電磁気・地球惑星圏学会とは？

「地球の真ん中から宇宙まで」を標語に、宇宙空間で観測機器が行ける範囲を対象に研究する科学者(教育関係者・学生)が集まる学術団体です。オーロラをはじめとする現象を、望遠鏡や人工衛星を用いた観測とコンピュータを使って研究しています。

中央図書館の特別展示を同時開催

市民フォーラムでは、宇宙や科学、理系分野の仕事、男女共同参画などに関する本の展示も行いました。こども達が思い思いに本を手にとってページをめくったり、熱心にメモをとったりする様子も見られました。



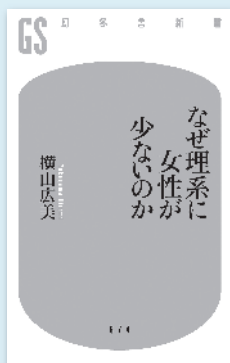


PICK UP!

男女共同参画推進施設 貸出図書のご紹介

川越市男女共同参画推進施設(ウェスタ川越)3階の交流サロンでは、男女共同参画関連図書を置いています。1人2冊まで2週間の貸し出しができます。

今回は、6月に開催した市民フォーラムのテーマ「理系分野で活躍する女性」にちなんだ書籍を2冊ご紹介します。



タイトル なぜ理系に女性が少ないのか

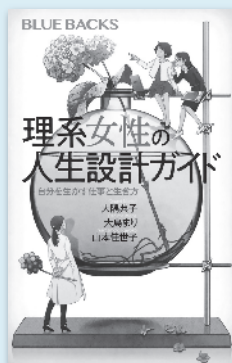
著者 横山広美

出版社 幻冬舎

内容 経済協力開発機構(OECD)の国際比較調査によると、加盟各国の大学など高等教育機関の卒業・修了生のSTEM(科学・技術・工学・数学)分野に占める女性の割合は、2021年時点で日本は平均を大きく下

回り、「自然科学・数学・統計学」の分野で27%、「工学・製造・建築」で16%と、いずれも加盟国の最下位でした。

本書は、女性が理工系分野を選択することを阻む要因を、ジェンダーの視点で様々なデータに基づき分析し、日本の社会風土の問題点を浮き彫りにしていきます。



タイトル 理系女性の人生設計ガイド

著者 大隅典子・大島まり・山本佳世子

出版社 講談社

内容 女性が様々な分野にチャレンジしていくことにより、多様な視点や発想が加わり、活力ある生き生きとした社会の実現が期待されています。しかし、理工系分野に興味がある人の中には、女性の少ない分野に進む

ことに不安があったり、具体的な仕事や研究のイメージを持てず迷っている人もいるかもしれません。

本書で紹介されている理工系分野で活躍する女性たちの実体験に基づくメッセージは、将来の具体的な活躍イメージをもって新たな世界へ踏みだせるように、悩んだり勇気を持てなかったりしている人達の背中を優しく押してくれます。



テレビやSNSで流れてくる情報って本当でしょうか？

男女共同参画の視点で考えるメディアリテラシーについて



過去には地震発生時、「動物園からライオンが逃げた」という誤情報がX(旧: Twitter)に流れることがあったよね。



情報量が多いとどのような問題があるのかな？
“ネットの情報＝正しい”という思い込みから信じてしまった人もいたみたいだけど。思い込みって怖いよね。



思い込みが引き起こす問題点

① 誤情報であっても、本当か嘘かの見分けが付きづらくなってしまう。

例) SNS上でアップされた誤情報をそのまま引用(リツイート)

② 自分の思い込みを、無意識に他の人にも押し付けてしまう。

例) 男性・女性=●●であるべきだ!という考え。

特に②のような情報に日常的に接していると、知らず知らず私たちの意識に刷り込まれ、偏ったイメージがそのまま私たちの価値観になってしまう恐れがあります。



そのような問題点がある中では、**メディアリテラシー**が重要になってくるんだよ。

メディアリテラシー？



用語解説

メディアリテラシー

メディア(新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・オンラインメディアなどの情報伝達的手段)+リテラシー(読み書きの能力・知識や情報を収集し、有効活用する能力)の造語です。

要約すると、**メディアにアクセスし、主体的に読み解き、コミュニケーション等に活用する能力**を指します。

(総務省ホームページより一部引用)



日常生活でメディアリテラシーを高めるためには、どのようなことを意識すればいいのかな？

メディアリテラシーを高めるポイント(例)

- ① 自分が本当に信頼できる情報は何かを意識しましょう。
- ② 先入観を持たず、事実か個人の考えかを見極めましょう。
- ③ 情報を発信する際は、無意識に過度な主観や思い込みを押し付けていないか注意しましょう。

まとめ

情報の捉え方は人それぞれです。
日頃から、メディアリテラシーを養い、情報を上手に日常生活に活用していきましょう。

CHECK!!

地域で活躍する 女性にインタビュー

第2弾



Q 現在のお仕事について教えてください

A いわゆる「街弁」なので様々な相談を受けますが、受任している仕事で多いのは、成年後見など高齢者・障がい者に関すること、遺産分割・遺言書作成・相続財産清算人など相続に関連すること、離婚・DV・犯罪被害

に関することです。また、自治体の審議会等の委員もいくつかお引き受けしています。

Q 働く中で性別に関連する困難を感じたことがありますか？

A 大きな困難はありませんが、無意識のバイアスや差別意識を感じることはあります。それから、私はもう子育ては卒業しましたが、少人数の法律事務所で、若い女性弁護士が妊娠・出産・育児と仕事を両立させることは、かなり大変だろうと思います。

Q 仕事のやりがいはどういうところですか？

A 事件が終了した時に依頼者の晴れやかな笑顔を見ることがでしょうか。私がかかわることで、当事者では解決できな

自分らしく生き、あらゆる分野に参画していく際のモデルにさせていただくために、地域で活躍する女性をご紹介します。第2弾は、川越市で弁護士として活躍されている大森三起子先生にインタビューさせていただきました。

かった法律問題を解決することができた時に、弁護士になってよかったと思います。離婚事件では人生の再スタートに立ち会うことができ、その後頑張っているとのこと報告を受けると、本当にうれしいです。

Q 仕事を行う上で大切にしていることはありますか？

A 依頼者の気持ちを汲みつつ法律的に妥当な解決に持っていくこと、紛争を大きくせず早期解決することを大切にしています。離婚事件では、お子さんの幸せを第一に考えます。成年後見は家庭に深く立ち入る仕事なので、ご家族・ご親族の歴史を尊重して、ご本人・ご家族・ご親族と接するよう心がけています。

Q 未来を担うこどもたちにメッセージを

A 今、学校では性別による差別はほとんどないと聞いていますが、一歩社会に出ると、人々の意識の中には、様々な差別意識がまだ根強くあります。

こどもたちには、学校で学んだことを忘れず、古い差別意識に染まらないで、誰もが生きやすい、よりよい未来を築いていって欲しいと思います。



川越市キャリア&ライフサポーター共同宣言企業のご紹介

本市と共に、働く人の仕事(キャリア)や人生(ライフ)を応援する「川越市キャリア&ライフサポーター共同宣言企業」は、令和6年2月末現在、40の企業・団体となっています。

ここでは、届け出順に、共同宣言企業と、そこで働く人のキャリア(仕事)やライフ(人生)の充実を応援するための取組をご紹介します。

共同宣言の詳細やお問い合わせは、産業観光部雇用支援課へ



社会福祉法人 あゆみの会



業 種：児童福祉事業
所在地：ふじみ野市
上福岡3-11-3

企業・団体紹介

川越市・ふじみ野市・板橋区で認可保育園5園、企業主導型保育園1園を運営している社会福祉法人です。

ココに注目！

ライフワークバランスを大切に、子育て中の方も多数就労しています。育休明けで復職する職員の方のために、優先して入園できる職員のための企業主導型保育園となりのすまいる保育園があります。

株式会社 池田硝子工業所 川越工場

業 種：製造業
所在地：川越市芳野台
1-103-41

企業・団体紹介

1943年4月創業。ガラス一筋に歩み続け、2023年に80周年を迎えました。当社は産業用から自動車、建築用まで幅広い分野のガラスを生産・供給し続け、皆様の暮らしを支えています。

ココに注目！

当社の年間休日日数は125日です。その他、特別休暇や有給休暇を取得しやすい職場作りを行うとともに、育児・介護休業の制度、短時間勤務の就業規定を定め、男女ともに仕事と家庭を両立しながら働けるワークライフバランスの取り組みを推進しています。2023年度の育児休業、短時間勤務取得実績：男性1名・女性2名。



講座等のご案内（ウェスタ川越 男女共同参画推進施設）

令和6年度 男女共同参画講座（11月以降開催分）

お申し込みは Web から



■ 講座問い合わせ ■

メール…entry@westa-kawagoe.jp

TEL 049-249-1186 *お電話でのお申し込みは承っておりません。

講座名	開催日
男女共同参画意識啓発のための講座	
文化とジェンダー 01・02	11月 3日(日・祝)・ 2月15日(土)
こころの care 講座	11月11日(月)・ 11月18日(月)
わたし × 心 × カラダ	3月18日(火)・ 3月25日(火)
自己防衛 女性のための護身講座	3月20日(木・祝)
就労支援講座	
ビューティスタイル講座	11月30日(土)～ 2月15日(土)
TOEIC® 講座 02	3月 1日(土)・ 3月 8日(土)
子育て・介護支援講座	
ストレスコーピング 笑いヨガ 02	1月16日(木)・ 1月30日(木)
手づくり体験 うどんを打つ 02	1月26日(日)
座ってできる認知症予防レクリエーション	2月12日(水)・ 2月26日(水)
ベビーマッサージ 03	3月 7日(金)

※やむを得ない事情により、内容の変更や中止となる場合があります。

川越市・川越市女性団体連絡協議会 共催事業

イブンライフin川越 講演会

『一人ひとりが自分らしく生きる』

講 師 Elles Films（エルフィルムズ）株式会社
代表取締役 粉川 なつみさん

日 時 令和6年12月7日(土) 13:30 開会予定

会 場 ウェスタ川越2階
川越市市民活動・生涯学習施設 活動室1・2

定 員 入場無料 応募多数の場合は抽選

その他 当日は、映画「スートルンプリンス」も上映します。



申し込み開始は 10 月中旬予定

◇ プロフィール ◇

ウクライナを支援したいと考え、クラウドファンディング等により、ウクライナのアニメーション映画を日本で初めて上映させる。
各界で目覚ましい活躍を遂げた女性に贈られる「ウーマン・オブ・ザ・イヤー 2024」受賞。

川越市女性団体連絡協議会とは

川越市女性団体連絡協議会は、平成10年(1998年)に設立されました。

現在、川越市で活動する21団体が加盟しています。当会は、各団体が相互に情報を交換し、協力し合うことにより、だれもが住みやすい男女共同参画社会を実現するために活動することを目的としています。令和6年度(2024年度)は、夏の交流茶会や防災をテーマにした市民参加型の研修会を開催したほか、広報紙「かがやき」を年2回発行したり、かわごえ産業フェスタやWith Youさいたまフェスティバルに参加したりするなど、精力的に活動しています。また、当会からは、市の各種審議会等の委員を推薦しているほか、女性市議会議員との懇談会を開催するなど、市の政策・方針決定過程へ参画できる機会があります。

加盟団体募集

私達と一緒に活動しませんか？

川越市内に活動拠点があり、1年以上活動している又はこれから継続した活動を計画している会員数が5人以上(その6割以上が女性であること)の団体ならどなたでも加入できます。

詳しくは、川越市女性団体連絡協議会のホームページをご覧ください。



～小さな悩みも一緒に考えていきましょう～

女性相談

家庭生活、夫婦関係など

月～金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00～17:00

川越市役所 男女共同参画課
☎049-224-5723

予約制

カウンセリングルーム

女性のこころの悩み、セクハラなど

第2・第4木曜日(祝日・年末年始を除く)
10:00～16:00 / 予約制

ウェスタ川越 男女共同参画推進施設
※予約は川越市役所 男女共同参画課
☎049-224-5723

男性のための電話相談

男性の臨床心理士が対応します

第1・第3日曜日
11:00～15:00

With Youさいたま

☎048-601-2175

受付時間外は、With Youさいたま相談室へ
☎048-600-3800

DV相談

一人で悩まず、まずは、ご相談ください

月～金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00～17:00

年齢・性別を問わず相談に応じています
川越市配偶者暴力相談支援センター
(川越市役所 男女共同参画課)
☎049-224-5723

さまざまな悩み

月～水曜日、金曜日、土曜日 9:30～20:30 / 日曜日、祝日 9:30～17:00(木曜日、年末年始を除く)
埼玉県男女共同参画推進センター With Youさいたま ☎048-600-3800

お悩みチャット@埼玉

日曜日・水曜日・金曜日 15:00～20:30(年末年始を除く)
相談は、ホームページから (<https://saitamaonayami.jp>)

DVに関する相談

月～水曜日、金曜日、土曜日 9:30～20:30 / 日曜日、祝日 9:30～17:00(木曜日、年末年始を除く)
埼玉県男女共同参画推進センター With Youさいたま
(埼玉県配偶者暴力相談支援センター) ☎048-600-3700

DV、ストーカーに関する総合相談

月～金曜日 8:30～17:15(祝日を除く)
川越警察署 生活安全課 ☎049-224-0110

緊急の場合は
110番へ

DV相談+

24時間(365日)(電話・メール相談)、12:00～22:00(チャット相談)
内閣府、一般社団法人 社会的包摂サポートセンター ☎0120-279-889
メール・チャット相談はホームページから (<https://soudanplus.jp>)

セクハラに関する相談

月～金曜日 8:30～17:15(祝日・年末年始を除く)
埼玉労働局指導課 ☎048-600-6269

にじいろ県民相談

(埼玉県性的マイノリティ県民相談)

毎週土曜日 18:00～21:30(年末年始を除く) ☎0570-022-282
LINE相談 LINEアプリで「埼玉県」に「にじいろ県民相談」を検索してください。

よりそいホットライン

24時間(365日)
一般社団法人 社会的包摂サポートセンター ☎0120-279-338
※DV等女性の相談はガイダンスにそって#3を、性的マイノリティの相談は#4を押してください。

イーブン

(川越市男女共同参画情報紙)

発行日：令和6年9月
発行：川越市男女共同参画課
〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 TEL 049-224-5723 FAX 049-224-6705
印刷：六三四堂印刷株式会社

過去のイーブンはこちらでご覧いただけます▶

